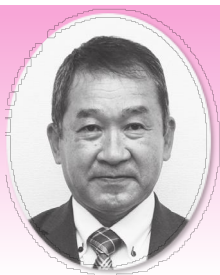


一般質問



道路の時間帯のシェアについて



みらい創政 ● 奥村 幹郎 議員

問 行政が人流・物流を習慣にとらわれることなく柔軟にコントロールし、地域の限られた道路を有効に活用し、混雑解消、事故のリスクを低減するために企業・学校等での始業時刻、物流時刻の分散化が必要と考える。分散始業時刻を市役所で実施することは可能か。

答 窓口業務など、開始時刻が決まっている職種が多く困難です。

問 企業等への分散始業時刻の協力要請は可能か。

答 周辺道路の渋滞緩和を目的とした始業開始時刻の分散化の協力要請は、関係機関・部署と協議を行い、必要となれば連携して要請することは可能であります。

問 分散物流（入出荷）時刻等協力要請は可能か。

答 物流事業者であれば、道路事情も考慮しての運行もされておられることも考えられます。各事業者の個別事情もあり、要請は難しい、啓発という形でお声かけできるのではないかと考えています。

問 自転車（中学・高校生）通学→小学生（集団登校）→通勤車両（四輪・二輪）の流れを作り出すことができれば、お互いに干渉しあうことなくより安全に通学・通勤できると考えるが、通学時間帯の調整、始業時刻の変更は可能か。

答 通学路の混雑改善につながると思いますが、時刻の変更による家庭や学校への影響が大きく市民生活や経済活動まで及ぶ変更は実現が難しいと考えます。



道路整備について



会派チーム湖南 ● 望月 卓 議員

問 車椅子、ベビーカー、高齢者用三輪車が安全に走行ができない。歩道の整備は。

答 「交通バリアフリー法」が施行され、高齢者、身体障がい者等の移動に際してのバリアフリー社会を実現することが求められ、「歩道の一般的構造に関する基準」が改正され、歩道計画においては、マウンドアップ形式からセミフラット形式が基本となってきました。マウンドアップ形式により整備されている路線は、各戸の外構等のやり直しや道路標高の修正が必要となり、早急に対応実行することは、困難であると考えています。まずは、歩道の未整備路線を優先してまいります。

問 三雲小学校の夏見・針・平松・柑子袋区間の旧東海道と並行する通学路の道路整備について、見通しは。

答 平成17年生活環境整備事業の一環として関係地権者の協力を得、農道整備を行い、一部拡幅可能な法定外公共物について、市道内屋敷線として市道認定されましたが、現在通学路の利用はなく、市道拡幅が困難であり、さらに、学校までは新たな道路整備が必要で、相当な困難と費用を要します。今後は、現在の通学路の安全、子どもたちの安全確保へ、通学路の危険箇所の改善に努めてまいります。

問 両サイドにある「グリーン帯」を片側へ拡幅させ、溝蓋の整備、電柱の地中化等通学路の安全確保は。

答 「グリーン帯」を片側に拡幅させることは、安全確保への手法と考えられます。検証しながら、取り組んでまいります。

※所属会派については12月議会定例会一般質問当時のものです。